



基本構想

1. 瑞穂市の将来展望

(1) 市の将来像

前計画では、「誰もが未来を描けるまち 瑞穂」を市の将来像に掲げて、その実現に向けた施策の展開を進めてきました。

前計画の基本構想策定から10年が経過し、市民のニーズや行政が対応すべき課題に改めて目を向けた上で、市民と行政が一体となり社会の変化に対応したまちづくりを進められるよう、市の将来像を新たに掲げて施策・事業を展開していく必要があります。

瑞穂市らしさをさらに高めていくため、本市の現状や各種調査結果等を踏まえ、本計画において目指す市の将来像を以下のとおり定めます。

◆市の将来像◆（案）

こどもが輝き 誰もが笑顔あふれる 安心して住みよい都市^{まち}
～ウェルビーイングに満ちあふれたコミュニティの創造～

《本市が目指す「市の将来像」について》

市民が望む本市の姿について、こどもから高齢者まで性別・国籍を問わず安心・快適に暮らし続けられる環境や、交通の利便性向上が重要であるとの意見が多く出されました。特に大都市近郊のベッドタウンとしての特性を持つ本市では、暮らしやすさの向上が求められています。

暮らしやすさの向上は市民の幸福度（ウェルビーイング）の向上につながると考えられます。また、子育てに関する意見も多く、子育て環境やこどもの健やかな成長を支援する取組も重要視されています。

今後の計画では、「こども」、「住みやすさ」、「ウェルビーイング」に焦点を当て、市民の幸せな暮らしを実現するための取組を進めていくこととします。

*「ウェルビーイング（Well-being）」とは、

- ・身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- ・多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。